

厚生・産業常任委員会 県外行政調査

1 調査日 令和元年11月13日（水）～15日（金）

2 調査の概要

11月13日（水）

（1）社会福祉法人 南高愛隣会（長崎県諫早市）

調査事項：障害者自立支援のさまざまな取り組みについて

南高愛隣会は、障害者自立支援法の実施を境に、知的障害者への支援だけでなく、発達障害者、精神障害者等、さまざまな障害者への支援に取り組んでいる。また、罪を犯した障害者の地域生活支援に、全国に先駆けて取り組んでいる。

支援事業は、生活介護事業、就労継続支援事業、グループホームにおける共同生活援助事業など多岐に渡り、その中での特徴的な取り組みとして、障害者が就労する配食サービス事業、障害者によるプロ和太鼓演奏チームの運営、乗馬療育などがある。

については、今後の審議の参考とするため、南高愛隣会における障害者自立支援のさまざまな取り組みについて調査を行った。



11月14日（水）

（2）佐賀県産業スマート化センター（佐賀県佐賀市）

調査事項：AI や IoT といった先進技術の利活用促進に関する取り組みについて

佐賀県は昨年10月、県内企業におけるAI や IoT といった先進技術の導入支援や県内IT企業の成長支援を行うことで、企業の生産性向上や新たなビジネスの創出を図ることを目的として、佐賀県産業スマート化センターを設立した。

当センターでは、AI・IoT等について相談・体験できる場の提供、経営者等に対する意

識改革セミナーの開催と人材育成、県内事業者と AI・IoT ベンダーのマッチングなどの事業を行っている。本委員会では「滋賀県産業振興ビジョンの改定について」を重点審議事項に位置付けており、今後の審議の参考とするため、センターにおける AI や IoT といった先進技術の利活用促進に関する取り組みについて調査を行った。



(3) 佐賀県観光課、佐賀フィルムコミッション

[会場：アバンセ（佐賀県佐賀市）]

調査事項：外国人観光客の誘客に向けた取り組みについて

インバウンド施策の推進に取り組む佐賀県は、2013 年のタイ人訪日ビザ緩和をきっかけとし、タイ現地で映画会社等の関係者に対してロケ誘致を行った。そこでロケ誘致に成功した映画が大ヒットを記録し、タイにおける佐賀県の知名度は一気に上昇した。

また、タイの旅行業者に映画の映像を見せてアプローチを行い、旅行商品作りを促すことで、佐賀県への誘引が加速した。

これらの取り組みにより、タイ人観光客の佐賀県内への宿泊数は、2013 年の 370 人から、2015 年の 4,590 人へと急増した。

本委員会では「映像産業を通じた地域活性化について」を重点審議事項に位置付けており、今後の審議の参考とするため、佐賀県の外国人観光客の誘客に向けた取り組みについて調査を行った。



(4) 祐徳稲荷神社、佐賀フィルムコミッション（佐賀県鹿島市）

調査内容：外国人観光客の受け入れについて

祐徳稲荷神社は佐賀県の取り組みを受けて、タイの映画やドラマのロケ地となり、これらのヒットと相まってタイ人観光客が急増した。神社ではこれを受けて、外国人観光客の受け入れに力を入れている。

主な取り組みとして、おみくじを母国語で読んでもらえるよう、英語やタイ語など6カ国・地域の言葉に翻訳した国際版を用意している。また、お賽銭を日本円で供えられるよう、自動外貨両替機を設置している。

本委員会では「映像産業を通じた地域活性化について」を重点審議事項に位置付けており、今後の審議の参考とするため、祐徳稲荷神社が取り組む外国人観光客への受け入れについて調査を行った。



(5) 福岡県国際政策課、福岡県外国人相談センター（福岡県福岡市）

調査内容：福岡県外国人材受入対策協議会の取り組みおよび福岡県外国人相談センターの相談体制について

外国人就労を拡大する改正入管難民法が本年4月に施行され、今後の外国人労働者の受け入れ増加が見込まれている。

これを受け、福岡県は本年6月、外国人材に関連した官民56団体で構成される福岡県外国人材受入対策協議会を発足させた。その中で生活、労働情報や課題を共有し、必要な対策につなげることで、外国人材の受け入れ環境を向上させることを目的としている。

また、同県は本年7月に福岡県外国人相談センターを新設し、外国人からの生活、就労などの相談を受け付けている。

本委員会では「外国人材の活用について」を重点審議事項に位置付けており、今後の

審議の参考とするため、協議会および相談センターの取り組みなどについて調査を行った。



11月15日（金）

（6）九州大学病院（福岡県福岡市）

調査事項：がんゲノム医療の推進について

現在我が国では、患者のDNA全般に含まれる遺伝情報を調べて、その結果から効率的・効果的に病気の診断や治療を行うゲノム医療の整備が進められている。

九州大学病院は、がんゲノム医療を牽引する高度な機能を有する医療機関として、各分野専門家による治療法等の検討会議、遺伝カウンセリング、ゲノム医療に関わる人材の育成などを実施し、がんゲノム医療に先駆的に取り組んでいる。また、本年2月には、厚生労働省より九州地方唯一のがんゲノム医療中核拠点病院に指定され、がんゲノム医療連携病院との広域的な連携に取り組んでいる。

本委員会では「医療提供体制のあり方について」を重点審議事項に位置付けており、今後の審議の参考とするため、九州大学病院におけるがんゲノム医療推進の取り組みについて調査を行った。

